



# 環境を守り、創る

心  
あ  
つ  
た  
か  
ニ  
ュ  
ー  
ス

NMCAA  
NO3

7月29日、エチオピアで国民が参加する樹木キャンペーンが行われ、12時間で3億5300万本以上の苗木が植えられた。植樹の世界記録となったそうです。アビー・アハメド首相が主導する森林再生キャンペーンに、数百万人が参加。1日で2億本の植樹を目標を上回る結果となった。植樹の世界記録はインドの6600万本が最高だった。エチオピアの国土に森林が占める割合は4%に満たず、19世紀末の約30%から激減している。気候変動で土地の劣化や土壌侵食、森林伐採、干ばつ、洪水などに見舞われアビー首相は5月の時点で、5月、10月の雨季の間に40億本を植樹するという目標を掲げている。アフリカでは、森林再生プロジェクトの一環として20カ国以上が1億ヘクタールの土地を再生するという目標を打ち出しているという事です。ヤフリー（ニュースCNNより）

## プラゴミをひろう犬

高知県黒潮町の海岸近くでサーフショップを営む、新谷信行が飼っている犬のボステンテリアの雌「くら」(8歳)は、朝夕の散歩の時、海岸に打ち上げられたペットボトルを拾うそうです。口に一本をくわえて一回の散歩で一本ですが、今までに3000本を回収したそうです。もっともとは、海岸に落ちていたペットボトルを投げて遊んだことで、ペットボトルを自分のおもちゃだと思ってしまう、見つけると、ペットボトルをくわえて「選んで！」みたいな感じで持ってくるようになったのがきっかけのようです。だから飼い主さんは、いくらがペットボトルをくわえてくると、遊んであげてから海岸のゴミ集積所まで行って捨てるまでをその日の散歩と遊びを終わりにしているそうです。いくらがペットボトルをくわえている姿を見たサーファーが、「ペットボトルを持って海からあがります！」と一緒に拾って帰っています。ただ最近、ゴミの量が増えたような印象を受けている

そうです。飼い主の新谷さんは「ごみと悪い出は家まで持ち帰ってほしいです。そして、存分に海を楽しんでもらえたら嬉しいです」と。夏本番に向けてのぞんでいきます。ヤフリー（ニュースFNNプラムより）

### 編集後記

私達が無意識でいると自然はあつという間に減少してしまいかもしれません。意識を向け、自分達も自然の一部として環境を守ることもっと大きな心の交流だったり、つながりが創れるような気がしました。地球に住んでいるのは、犬も樹もだなどつくづく感じました。木々の緑と海の青の美しいところでみんなが生きています。